

# 25歳受診率 1割に満たず

## 福島県の甲状腺検査

報告された。

東京電力福島第一原発事故の健康影響を調べる福島県の「県民健康調査」検討委員会が二十七日、福島市内で開かれた。事故当時、十八歳以下だった県内全ての子どもが対象の甲状腺検査で、二十五歳の節目を迎えた人が受ける検査の受診率が一割に満たないことが

甲状腺検査は約三十八万人が対象で二〇一一年度から開始。一四年度に二巡目、一六年度からは三巡目、今年五月からは四巡目に入っている。対象者が二十五歳になると、その後は五年ごとに検査を受ける。今回、二十五歳になった人の検査結果が示され、対象となる一万二千六百五十

三人のうち今年九月末時点で二千五人が受診し、受診率は8・9%にとどまった。二人ががんの疑いと診断された。

受診率低下は、年齢が上がるにつれ就職や進学で県外に移ることが原因の一つとされる。検査を行う福島県立医大の担当者は「親元を離れる人も多い。県外の検査拠点では平日のみの受け付けなど、利便性が低い場合もある」と説明した。

## ■福島 新たに2人甲状腺がん

福島県は27日、東京電力福島第一原発事故時に18歳以下だった約38万人を対象にした甲状腺検査で、9月末の時点として、新たに2人が甲状腺がんと診断され、計166人になったと発表した。がんまたはがんの疑いとされた人は、5人増えて207人。検査を検証している検討委員会は「これまでのところ被曝(ひばく)の影響は考えにくい」としている。県は約3カ月ごとに最新結果を発表している。

2018.12.28 朝日新聞朝刊 25面

2018.12.28 東京新聞朝刊 22面

読売新聞、毎日新聞は12月28日朝刊、夕刊  
福島の小児甲状腺がんの事を記事にしました。  
んでした。